

福島工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語ⅡB
科目基礎情報						
科目番号	0021		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義・演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	化学・バイオ工学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	English Expression II be IIZUNA SHOTEN、 be English Expression II My English Portfolio					
担当教員	石原 万里					
到達目標						
① 高校英文法で必要最低限の要点を習得することができる。 ② 英語IBで学んだ文法事項に基づき、自分の考えなどを英文で表現する能力を身につける。 ③ English Portfolio を利用して100 words以上の英語のエッセイが書けるようにする。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1		各授業項目の内容を理解し、応用できる。	各授業項目の内容を理解している。	各授業項目の内容を理解していない。		
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要		自分の考えを英語で表現できる基礎的な能力を養う。また、英語表現に必要な文法や文構造の基礎知識の習得をめざす。				
授業の進め方・方法		文法事項についての説明 英語表現の練習 英語のエッセイライティング				
注意点		必ず予習をして授業に臨むこと。担当教員が予習状況を授業中に確認することがある。 定期試験の成績を60%、課題提出・小テストの成績を30%、平常点を10%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。				
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Lesson 1	前期授業についての説明など 時の表し方		
		2週	Lesson 1 Lesson 2	時の表し方 動詞と文の構造		
		3週	Lesson 2	動詞と文の構造		
		4週	Lesson 3	助動詞		
		5週	Lesson 3 Lesson 4	助動詞 名詞と限定詞		
		6週	Lesson 4	名詞と限定詞		
		7週	Lesson 5 前期中間試験答案返却	答案の返却と解説、前期前半で学んだ内容のまとめ、 代名詞		
		8週	Lesson 5 Lesson 6	代名詞 名詞句と名詞節		
	2ndQ	9週	Lesson 6	名詞句と名詞節		
		10週	Lesson 7	形容詞		
		11週	Lesson 7 Lesson 8	形容詞 形容詞句		
		12週	Lesson 8	形容詞句		
		13週	Lesson 9	形容詞節（関係詞節）		
		14週	Lesson 9 Lesson 10	形容詞節（関係詞節） 副詞		
		15週	Lesson 10 前期期末試験答案返却	答案の返却と解説、前期で学んだ内容のまとめ、副詞		
		16週				
後期	3rdQ	1週	Lesson 11	副詞句		
		2週	Lesson 11 Lesson 12	副詞句 副詞節		
		3週	Lesson 12	副詞節		
		4週	Lesson 13	比較		
		5週	Lesson 13 Lesson 14	比較 仮定法		
		6週	Lesson 14	仮定法		
		7週	Lesson 15 後期中間試験答案返却	答案の返却と解説、後期前半で学んだ内容のまとめ、 複文での動詞の使い方		
		8週	Lesson 15 Lesson 16	複文での動詞の使い方 「言う」「見る」「聞く」の表現		
	4thQ	9週	Lesson 16	「言う」「見る」「聞く」の表現		
		10週	Lesson 17	認識の表現		
		11週	Lesson 17 Lesson 18	認識の表現 許可・提案・勧誘・依頼・要望の表現		

	12週	Lesson 18	許可・提案・勧誘・依頼・要望の表現
	13週	Lesson 19	存在や変化の表現
	14週	Lesson 19	存在や変化の表現
	15週	後期末試験答案返却	後期末試験答案返却、後期で学んだ内容のまとめ
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	
			英語運用能力向上のための学習	母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	2	

評価割合

	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	30	0	10	0	0	100
基礎的能力	60	30	0	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0